

令和7年9月 品川区長 定例記者会見



1. 9月補正予算案 総額1億6,655万円余

【主な内容】

障害児の放課後等支援拡充

- ・放課後等デイサービス事業所の新規開設支援
- ・放課後等デイサービス事業所における中重度障害児受入れ促進補助

2. 新たに開始する取組

同性パートナーを対象とした取組拡大

- ・続柄欄「夫・妻(未届)」と記載した住民票の写しの交付開始
- ・災害弔慰金の対象拡大

3. 所得制限のない給付型大学奨学金

医療系および理工農系学部の大学に進学を希望する区内在住者を対象に申請受付開始

- ・毎年度100人に対し、年額54万円を最長4年間(医学部等は6年間)給付

4. 品川区×ユニクロ 都内初

都市ブランドデザインを活用した新しい取組

- ・官民共創によるコラボTシャツの販売開始 (都内最大級の売り場面積を誇る「ユニクロ五反田TOC店」での限定販売)

背景：区内における障害児の放課後等の支援を取り巻く状況

利用者負担の 無償化

令和7年度より障害児通所支援等に係る
利用者負担を区独自の助成により
所得にかかわらず完全無償化

利用者数の増加に伴う事業所の 不足

令和5年度月間利用者数：893人

令和6年度月間利用者数：1,035人

利用者のさらなる増加が見込まれる

放課後等デイサービス事業所の新規開設・中重度障害児受入れ促進補助

実施概要

区内で放課後等デイサービス事業を 新規開設する事業者に対し、開設時の初期費用を補助

01

物件初期費用

礼金・仲介手数料
(上限100万円)

補助率 10/10

02

物件賃借料

開設前

40万円/月 補助率 10/10
(最大3か月、上限120万円)

開設後

20万円/月 補助率 1/2
(最大3年、上限720万円)

03

駐車場賃借料初期費用

駐車場賃借料の最大3か月
(1台あたり上限3万円、最大3台)

補助率 10/10

実施概要

中重度障害児の受入れ・送迎実施事業所への補助

01

受入れ加算

愛の手帳 1、2度所持者の受入れ

@1,300円×3.5h×12日×5か月×人

愛の手帳 3度所持者の受入れ

@1,000円×3.5h×12日×5か月×人

利用者増にも対応できるよう態勢を整備

02

送迎補助

送迎事業者の駐車場料金補助

(月額料金) 15,000円/月 補助率 1/2
(最大5か月、3台)

(送迎時の一時駐車) 200円/回

車両送迎支援補助

一律9,000円×20日
※2台目以降は1台目の2/3

臨海青海特別支援学校送迎対応事業所への補助

学校と事業所間の送迎の支援
50,000円×1台

同性パートナーを対象とした取組拡大(1)



背景

住民票の続柄欄の表記

異性間の事実婚の場合

「夫(未届)」「妻(未届)」 と表記

品川区における同性パートナーの場合

「同居人」 と表記

当事者間の関係を適切に反映した表記がされない状況が続いている

この課題を是正するため令和6年12月、品川区を含む10区の区長連名で国に対し要望

- 住民票の続柄欄に適切な新たな表記を設けること
- 同性パートナーが法律婚や事実婚と比べて不利益を被ることのないよう、社会保障制度の改正を早急に進めること

国の制度改革を待つことなく、区独自の対応を10月1日より開始

同性パートナーを対象とした取組拡大(2)

【区独自の対応】住民票の写しの続柄記載

同性パートナーの 「夫(未届)」「妻(未届)」表記 10月から可能に

記載開始日 令和7年10月1日(水)

対象

東京都パートナーシップ宣誓制度を利用する
区内に同世帯として住民登録されている方

イメージ

The image shows a sample of a Japanese Resident Basic Register (Jumin Koseki) form. The form is titled '住民票' (Resident Basic Register) and 'みほん' (Basic Register). It contains various fields for personal information, including name, date of birth, sex, and marital status. The '続柄' (Relationship) field is highlighted with a red box, and an arrow points to it from a larger red box containing the text '続柄 夫(未届)'. Another red box at the bottom of the form contains a disclaimer in Japanese, stating that the information is for administrative purposes only and does not constitute a legal marriage.

本証明書における続柄は、品川区住民基本台帳に関する規則第4条の3に基づき、記載された品川区独自のものです。他の行政機関等にて同様の取扱いを保証するものではありません。また、本証明書をもって事実婚であることを証明するものではありません。

【区独自の対応】災害弔慰金の支給に関する要綱の制定

同性パートナーが災害弔慰金を受け取れるよう要綱を制定

背景

従来の国の制度である「災害弔慰金の支給に関する法律」に基づく弔慰金は遺族に支給されることとされているが、その範囲に同性パートナーは含まれていない不公平な状況

目的・対象者

目的

パートナーシップ関係の相手方への災害弔慰金の支給に関して必要な事項を定める

対象者

災害により死亡した区民の死亡当時、「東京都のパートナーシップ宣誓」を行っているパートナーシップ関係の相手方

※死亡した区民の遺族に法律に基づいて災害弔慰金が支給されている場合、同性パートナーへは支給しない

支給額・スケジュール

生計維持者が死亡した場合

500万円

その他の者が死亡した場合

250万円

スケジュール

令和7年10月1日(水) 要綱制定・公表

令和7年9月1日(月)申請開始

所得制限のない給付型奨学金により、経済状況に左右されない進学を支援

背景

学費が高額な医療系および理工農系学部の大学では
保護者に一定の所得があっても進学を断念せざるを得ないケースがある

実施概要

目的

家庭の経済状況に関わらず、意欲ある学生を支援することで、自ら希望する進路を選択できる環境を整備し、将来の人材育成を後押しすること

給付額

1人あたり年額54万円

対象者

- ・令和8年4月に医療系または理工農系学部の大学へ進学予定である区内在住者100人
- ・学業成績が優れており、区内での地域貢献活動に定期的に参加できることなどが要件

スケジュール

9月30日申請受付締切 令和8年2月結果通知

令和7年4月 品川区都市ブランディング「しあわせ多彩区」 策定

障害のあるアーティストの独創的な作品をプロダクト化するヘラルボニーが参画し 全国初となるオリジナルアートによる都市ブランドを展開



HERALBONY

<ブランドデザイン>

株式会社ヘラルボニー

「異彩を、放て。」をミッションに、世界を隔てる先入観や常識という名のボーダーを超え、新たな文化を作り出す挑戦を国内外へと仕掛ける



<アーティスト>

岡部 志士 希望の園(三重県)

クレパスを塗って面をつくり、その色を消すようにニードルで削ってできたカスを集め、粘土のようにして遊びながら作品を創る。

「品川区都市ブランドデザイン記者発表会」開催(令和7年4月3日)

しあわせ
多彩区
Shinagawa City

官民共創によるコラボTシャツの販売開始

都市ブランドアートをデザインしたオリジナルグッズを9月12日から販売開始

※五反田TOC店での限定販売



※イメージ

Tシャツ / 1,990円



※イメージ

Tシャツ / 1,990円



トートバッグ / 2,490円



ミニトートバッグ / 1,990円

9月13日(土) ユニクロ五反田TOC店のリニューアル1周年イベントとのコラボ

品川区は都市ブランドの紹介の他、しながわ観光大使見習い「ハタチの龍馬」、品川区と連携協定自治体である高知県との木育企画で参加